平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	第二外国語2(中国語)(Chinese2)			授業コード	A030351
担当教員名	舛田　佳弘			科目ナンバリングコード	A20315
配当学年	2	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	三分の二以上出席しなければ受験資格を喪失するので、注意して下さい。				
受講心得	語学は積み重ねです。相応に時間をかければ誰でもできるようになりますが、かけなければできません。しっかり出席しましょう。定期試験以外に小テストの提出も必要です。				
教科書	しっかり初級中国語　白水社、適宜プリント類				
参考文献及び指定図書	日中辞典、中日辞典(電子辞書も可)				
関連科目					

授業の目的	日中関係は政治・経済ともに変動が大きいですが、同時に引っ越しのできない隣人関係でもあり、コミュニケーションを避けることはできません。業務や日常生活においても使う機会が増え続ける中国語を学ぶことで、相互理解を促進し、自身の意見をはっきりと伝えられるようにすることが目的です。
授業の概要	「言語」を勉強するには、その言語と繋がるその民族の文化、民俗、習慣等も理解する必要があります。中国語の講義と併せて、中国の文化事情、民俗風習などを紹介し、中国に対する関心と理解を深めます。講義は教科書に沿って行うので、必ず用意してください。内容的には中国語1と重複する部分もありますが、単語も増え、構文も応用的なものが増えます。中国語1を履修しなくても受講は可能ですが、かなりの努力が必要となることを理解して選択してください。語学の習得はかけた時間によります。単語などは使わないと身につかないので予習・復習(二時間程度)を欠かさないようにしてください。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : 前期の復習(中国と中国語について、発音)	配布資料
第 2 週 : 前期の復習(発音・文法)	小テスト、 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第 3 週 : 第1課 人称代名詞、疑問文　以後適宜復習の小テストを行います。 基本となる人称代名詞や疑問詞を学習します。	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第 4 週 : 第2課 指示代名詞、連体修飾語 連体修飾語は日本語の「の」と近い用法もあれば異なるものもあるので注意しましょう。	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第 5 週 : 第3課 形容詞、主述述語文 形容詞を述語として使う場合の同士との違いに注意しましょう。	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第 6 週 : 第4課 数量表現、助動詞「想」 中国語でも日本語と同様に対象によって数え方に違いがあります。	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること

第 7 週 : 第5課 方位詞、介詞「在」「离」 場所や方角を示すことで、道を聞いたり場所を案内することができるようなります。	**小テスト** 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第 8 週 : 第6課 連動文、介詞「跟」、助動詞「要」 複数の動作をひとつの文とすることで、表現に幅がでます。助動詞によるニュアンスの違い。	**配布資料** 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第 9 週 : 第7課 「了」の用法、時刻表現 副詞「了」には複数の用法があります。完了と変化の違いに注意しましょう。	**小テスト** 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第10週 : 第8課 重ね型、介詞「給」、助動詞「可以」 動作の程度を表す表現、前置詞「for」に似た表現、「できる」「できない」の表現を学びます。	**小テスト** 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第11週 : 第9課 経験、持続、助動詞「能」「会」 日本語にはない進行と持続の違いを理解しましょう。「できる」を体系的に理解しましょう。	**小テスト** 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第12週 : 第10課 時間量、様態補語、進行 時間の量に関する表現、物事の程度を表す表現などで表現力の幅を広げます。	**小テスト** 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第13週 : 第11課 結果補語、回数表現、比較 動作とその（予想される）結果を一文にすることで表現力を高めることができます。、	**小テスト** 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第14週 : 第12課 方向補語、使役表現 方向補語はニュアンスによるところが大きいため、基本構文をもとに多くの例で慣れましょう。	**小テスト** 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第15週 : ステップアップ：可能補語、「把」構文など 中級以上の中国語学習につなげるための応用的な部分を紹介します。基本的な方向を押さえておけば独学による習得も可能です。	**配布資料**
第16週 : 期末試験 発音（聞き取りと発話）及び文法のテストを行います。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	中国の社会、文化、歴史に対する関心をもつこと
【知識・理解】	中国語の正しい発音と、基本的な語彙を覚えましょう。また、語順等全体的な構造を理解しましょう。
【技能・表現・コミュニケーション】	日常会話に使われる基本フレーズを応用して、自分の考えことを伝えましょう。

【思考・判断・創造】	言語はあくまでコミュニケーションのツールですので、伝えたい内容をよく吟味しましょう。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点	5点		
【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	50点	5点		
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点	5点		
【思考・判断・創造】※「考え抜く力」を含む。	10点	5点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	